

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立十一屋小学校] 担当教諭名 [福田 晃・大宮 弘太] (6年1・2組 63名)

交流相手国 [フランス領ポリネシア]

海外学校名 [Collège de Taiohae] 担当教諭名 [Emeline Cholley]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	海外に目を向けよう～夢のアートマイルプロジェクト～	70
	国語	ようこそ、わたしたちの町へ	8

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	This is collaboration. ～金沢・ヌクヒバ島の壁画～
絵に込めたメッセージ	金沢とヌクヒバ島の建造物を互いに伝え合った。互いに興味を持ったものを壁画に描いた。互いの文化は異なるものの、共通の太陽を壁画の中心におくという点を工夫した。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識をもった学習が可能となった。 ・壁画を作成するという明確な目標があったことから、一つ一つの学習に意義を見いだしていた。 ・海外の児童と接することによって、異なる文化と関わり合う楽しさを実感していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師間でのやりとりに労力がかかってしまう。 ・テレビ会議をしようと思っても、校内既存のネットワークでは満足できる通信速度にはならなかった。 ・やはり言葉の壁は大きい。児童は十分に自分たちの考えを伝えることはできなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・英語学習への意欲が劇的に変化した。英語で話すことの必要性を強く実感していたようである。 ・外国文化に興味を持つようになった。実際に海外に行ってみたいという児童の数が増加した。 ・文化の異なる国に目を向けることが楽しいと回答した児童が97%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に異国文化を体験させる必要性を強く実感した。 ・自分自身の英語力の向上が必要だと感じた。 ・目的意識を持たせた実践が大きな効果を生むということを知った。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	1 学期 + 9月	・自己紹介カードの作成 ・日本文化の見直し	交流相手のことを知りたいし、自身のことも伝えたいという声が多数聞かれた。英語に苦手意識を持つ児童も懸命に自己紹介カードを作成していた。	総合6
テーマ学習	9月 10月	・金沢パンフレットの作成 ・金沢文化写真撮影 ・ビデオレターの作成	金沢の名所を伝えるためにパンフレットを作成し、送るという計画を立てた。兼六園、金沢城、東茶屋街、金沢駅などを写真と文章で説明していた。	国語8 総合24
構図決定	11月 12月	・壁画制作チームによる構図の構想 ・ヌクヒバ島との構図会議 ・壁画制作プロジェクトメンバーの公募	壁画製作チームを特別に募集し、壁画の構図を10パターン程度考えた。その中から投票で候補を絞った。その後、教員でテレビ会議を行って構図を決めた。	総合6
壁画制作	12月	・壁画制作 ・ビデオレターの作成	やりとりで決まった壁画の構図をもとに、デザインを考えていた。また、同時にヌクヒバ島の児童に壁画制作の様子を伝える写真も送ろうとしていた。	総合24
鑑賞・振り返り	1月 ～ 3月	・ビデオレターの作成 ・アートマイルプロジェクトのふり返り	自国文化を紹介し、質問に答えるというビデオレターを作成した。楽しみながら学習を終えることが出来た。	総合10

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	身近にある金沢の文化をあらためて見つめ直すことができた。地域にある建造物にも愛着を持つようになった。
異文化の理解	B	4	踊りに大きな興味をもった。国が違うとまったく異なるということを知り、このことを足がかりに他の文化にも目を向けていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	なんとか自分たちの調べたことを伝えようと、自らALTに英訳してもらおうとする姿が見られた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	タブレット端末を活用し、地域調べでは多くの写真を撮影し、リーフレットにして発送することができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	普段あまり関わりのない児童同士でも、同じ交流相手であった場合、積極的に相談している姿が見られた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	役割分担を明確にすることによって、自分たちですべきことを考えながら学習を進めていた。
学習を追究する意欲	B	5	自ら映像を送ろうと、撮影してくる児童が後半になるにつれて増えていった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	興味を持ってもらった金沢の文化を絵に描くことができた。構図についてもたくさんのパターンを考えていた。
作品を鑑賞する力	C	1	壁画が届かなかったこともあり、重要視しなかったし、そのような機会を確保しなかった。